

平成30年6月8日付けでカルタヘナ法に基づき承認した遺伝子組換え農作物(第一種使用規程)

作物名	名称及び承認取得者	第一種使用等の主な内容					パブリック コメント回答 掲載日	承認日	(参考)他の安全性 の確認状況	
		隔離ほ場 での試験 等	栽培	食用	飼 料 用	観 賞 用			食品安全 性(食品 衛生法)	飼料安全 性(飼料 安全法)
トマト	ミラクリン産生トマト(MIR, <i>Solanum lycopersicum</i> L.) (5B) [国立大学法人筑波大学、株式会社インプラントイノベーションズ]						H30.6.8 (回答は、 こちらから)	2018年6月8日	-	-
ファレノプシス (コチョウラン)	青紫色ファレノプシス(<i>CcF3 5 H, Phalaenopsis</i> Wedding Promenade) (311) [国立大学法人筑波大学、株式会社インプラントイノベーションズ、石原産業株式会社]						H30.6.8 (回答は、 こちらから)	2018年6月8日	-	-
ダイズ	除草剤ジカンバ、グリホサート及びグルホシネート耐性ダイズ(改変 <i>dmo</i> , 改変 <i>cp4 epsps</i> , <i>pat</i> , <i>Glycine max</i> (L.) Merr.) (MON87708 × MON89788 × A5547-127, OECD UI: MON-87708-9 × MON-89788-1 × ACS-GM006-4) 並びに当該ダイズの分離系統に包含される組合せ(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。)[日本モンサント株式会社]						H30.6.8 (回答は、 こちらから)	2018年6月8日	2018	2018
ダイズ	高オレイン酸含有並びに除草剤アセト乳酸合成酵素阻害剤、グリホサート及びジカンバ耐性ダイズ(<i>gm-fad2-1</i> , <i>gm-hra</i> , 改変 <i>cp4 epsps</i> , 改変 <i>dmo</i> , <i>Glycine max</i> (L.) Merr.) (305423 × MON89788 × MON87708, OECD UI: DP-305423-1 × MON-89788-1 × MON-87708-9) 並びに当該ダイズの分離系統に包含される組み合わせ(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。)[デュポン・プロダクション・アグリサイエンス株式会社]						H29.7.28 (回答は、 こちらから)	2018年6月8日	2018	2018
トウモロコシ	除草剤グリホサート及びグルホシネート耐性トウモロコシ(<i>mepsps</i> , <i>pat</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Ittis) (MZHGOJG, OECD UI: SYN-000JG-2) [シンジェンタジャパン株式会社]						H30.6.8 (回答は、 こちらから)	2018年6月8日	2017	2018

注1: 名称の()内の「OECD UI」とは、OECD Unique Identifierのことであり、遺伝子組換え植物の安全性審査の単位としてOECDに登録されている識別記号のことです。

注2: 名称の()内の「OECD UI」の前に記述している英数字は、開発者による識別番号です。

注3: 第一種使用等の内容の「食用」、「飼料用」とは、食用又は飼料用のための「輸入及び流通」について認められたものです。

注4: 「(参考)他の安全性確認状況」の欄は、食品衛生法に基づく食品としての安全性審査の手続きを経た年、ないし、飼料安全法(飼料の安全性の確保及び品質の改善に関する法律)に基づく飼料としての安全性の確認がなされた年を示すものです。「-」は未確認を示すものです。ただし、非食用又は非飼料用については「不要」を意味します。なお、スタック系統については親系統で安全性を確認しております

参考1: 承認した遺伝子組換え農作物に係る第一種使用規程承認申請書、生物多様性影響評価書の概要、学識経験者の意見等については、バイオセーフティクリアリングハウス(J-BCH)のLMO関連情報(http://www.biodic.go.jp/bch/bch_3.html)から検索できます。

参考2: これまでに承認した遺伝子組換え農作物のリストについては、こちらからご覧下さい。
<http://www.maff.go.jp/j/syouan/nouan/carta/torikumi/index.html#1>